



わが家のアイドル

西本郷にお住まいの

江渡 隆さん・由夏子さんの

長男 **祐太郎** くん(4歳8か月)

長女 **梨紗** ちゃん(2歳2か月)

やんちゃで甘えん坊な兄！と、只今、
やんちゃできかん坊な妹！です。
一年中、下田の海を走り回ってます。



下田市はあいさつ運動実践中

あいさつではじまる人のわ、家族のわ



下田市内の指定文化財

その42

下田市指定史跡

戸田忠次の墓

所在地 4丁目 泰平寺

昭和48年6月12日指定

泰平寺には、江戸時代の初めに下田の領主となった戸田忠次の墓があり、下田市指定史跡となっています。



戸田忠次の墓

戸田忠次は、享禄4年(1531)に三河国(現愛知県)田原城主の戸田一族に生まれました。徳川家康の家臣となりました。忠次は武勇を發揮し、各地を転戦、天正18年(1590)の豊臣秀吉と後北条氏の戦いでは家康の配下で大きな功績をたてました。徳川家が関東

へ国替えとなり、武威や相模、伊豆などの六カ国を得ると、

同年9月、家康は恩賞として下田五千石を戸田忠次に与えました。

忠次は現在の海善寺辺りに居館を構え、約8年間にわたり下田を知行しました。慶長2年(1597)に68歳で亡くなると、自らが再建した泰平寺に葬られました。



長松山 泰平寺

忠次の没後、息子の尊次が関ヶ原合戦で活躍したことから、戸田家は再び故郷の三河国田原に領地を得ました。そして戸田家が去った後の下田は幕府の直轄地(天領)となりました。

泰平寺にあった墓も三河に移転しましたが、忠次を慕った第三代下田奉行石野八兵衛が墓碑を建立すると、忠次のひ孫にあたる宇都宮藩主戸田山城守忠真がそれを知り、元禄3年(1690)に現在の墓を再建しました。

忠次の墓は、泰平寺本堂裏手の墓地の一角にあります。下田における忠次の業績は詳らかではありませんが、居館のあった海善寺前の通りを殿小路といい、連尺町や町棚町などの旧名は、忠次が所領した時代の名残と伝えられています。



現在の殿小路

アクセス 伊豆急下田駅より徒歩10分
問合せ先 教育委員会生涯学習課

☎ 5055



「広報しもだ」は再生紙を使用しています

広報しもだ 2009.1月号

下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>